



働くことの大変さを学ぼう

三好中学校職場体験

働くことや人との関わりについて学んでもらおうと9月13日から17日まで、三好中学校2年生の生徒たちによる職場体験が行われました。すみれ保育園では生徒3人が保育士の仕事を体験。初めは緊張のため園児たちとうまく接することができなかった生徒たちでしたが、一緒に絵本を読んだり、追いかけてこをしたりと奮闘。次第に、園児たちに話し掛けられるようになり、積極的にコミュニケーションを図っていました。



私たちにもできること

三好高校炊き出し訓練

9月14日、三好高校で炊き出し訓練が行われました。これは大地震で学校が避難所となった場合、自分たちができることは何かについて考え、防災意識を高めることを目的に行われたもの。みよし市赤十字奉仕団やあいち防災リーダー会の協力の下、学生たちは野菜の下ごしらえから盛り付けまでを自分たちで行って、来場者にカレーを振る舞いました。また、防災クイズや新聞紙を使ったスリッパの製作なども行われました。



みんなで一緒に

絵巻物語と歌を楽しもう

同世代の人たち同士で会話を楽しみながら親睦を深めてもらおうと9月16日、サンアートふるさと会館で「絵巻物語と歌を楽しむ」が行われました。ヘルスパートナー主催で行われたこの行事。市内で音楽教室などを開いている三井アーツのグループの一つ「おはなしいっぱいどれみ」のメンバーが、絵巻物の朗読や絵本から連想される音懐かしい歌をピアノ伴奏と共に披露。参加者たちは楽しいひとときを過ごしました。



いつまでもお元気で

みよしの里敬老会

特別養護老人ホームみよしの里で9月17日、敬老会が行われました。初めに久野知英市長から「いつまでもお元気で、長生きをしてください」とあいさつ。続いて利用者の皆さんに記念品の贈呈が行われました。また、みよしの里のスタッフからはこの日のために1カ月かけて練習したフラダンスが披露されました。利用者はいつもと違うスタッフの様子に声援と拍手を送り、会場の至る所で笑顔が溢れていました。



孫と一緒に楽しもう

世代交流サッカー健康増進教室

介護予防の一環として、高齢者の皆さんに孫と一緒に運動してもらおうと9月19日、世代交流サッカー健康増進教室が旭グランドで行われました。みよし市と名古屋グランパスの協働で開かれたこの教室。60歳以上の人とその孫の小学生合計65人が参加。参加者は孫と一緒にパスを出し合いながら、ゴールに向かって元気にシュートをしました。参加者たちは、孫とのつかの間のひとときを過ごし、気持ちの良い汗を流しました。



シートベルトの確認を

秋の全国交通安全県民運動店頭広報活動

9月21日から30日までの10日間、全国的に展開された全国交通安全県民運動。その一環として市民に交通安全を呼び掛ける店頭広報活動が運動初日の9月21日、メグリア三好店で行われました。みよし市交通委員をはじめ、交通指導員、市職員で構成する交通安全対策プロジェクト委員およそ35人が、靴磨きやポケットティッシュなど交通安全を呼び掛ける「Q」が入ったPR資材を来店客に手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。

